

中央会の ネットワーク構築を受注

ACTIVE KUMIAI



中央会でのネットワーク工事の様子

甲府市に事務所を置くコンピュータ利用促進協同組合（太田和彦代表理事・組合員11社）が、中央会の情報システムの入れ替えに伴いITシステム構築と保守、IP電話システムの納入を受注した。

コンピュータ利用促進協同組合は、山梨県の企業を中心に1都1府2県の情報関連業者11社が加入する組織で、ソフトウェア開発・システム構築・IP電話・ネットワーク工事・Webデザインなどの関連業種による異業種組合。組合員の特長が活かせるIP電話システム関連に力をいれており、最近ではTOHOシネマズ株式会社の電話システムを手がけ、全国60劇場うち、23劇場の音声自動応答システムと、4劇場のIP電話システムの導入実績があり、他劇場への導入も予定している。

中央会の情報システム構築では、組合員のうち（株）アイティードウ、（株）アースワークス、（株）アイウェイマークの3社が中心となって担当。短時間で人手を必要とするシステム構築と機器設定、LAN工事の作業では各社から人員を出して切替を1日で完了させるなどの体制をとった。

太田理事長は「組合にはエンジニア・工事要員など総勢50名以上がおり、プロジェクトごとに各社の得意分野を連携させて大手のシステム会社のような幅広い業務に

パソコンの設定に手分けで取り組む



対応することが可能。平成21年12月には官公需適格組合証明も取得し、実績を上げていくことで徐々に大きな仕事を受注できるようになってきている。少人数でも技術的に新しいものに取り組む企業に組合に入してもらい、情報ノウハウを共有しながら実績を上げていきた」と、若い理事長らしき今後の豊富を語った。



コンピュータ利用促進協同組合

TOPICS